

2016. 12. 8

## 矢作川流域圏懇談会 勉強会

## 神奈川県山北町森林組合の案内による森林とダムと土砂の勉強会

山部会 蔵治光一郎

## 勉強会の目的

酒匂川は、静岡県・神奈川県を流れる延長 113km、流域面積 570km<sup>2</sup> の二級河川であり、酒匂川水系の河内川に造られた三保ダムは神奈川県の水需要の 30%を支えるロックフィルダムである。三保ダムの堆砂量は、平成 22 年台風 9 号、平成 23 年台風 15 号、平成 24 年 7 月前線による豪雨等により、堆砂率が 3 年連続で急増し、現在 88%となっており、ダム維持管理費（アロケーション：水道企業団 84.3%、神奈川県治水 15.2%、東京発電 0.5%）のうち、堆砂対策費が約 40%を占めるに至っており、ダムへの土砂流入を抑制するために、森林等の整備等、必要な施策を流域圏が一体となって講ずる必要に迫られている。

三保ダムは、神奈川県山北町（面積：224.7km<sup>2</sup>、森林面積：203.28km<sup>2</sup>、森林率：90%）に位置している。山北町では、神奈川県の水源環境税（39 億円／年、全国最大の予算規模）により「溪畔林再生手法開発」「対照流域法モニタリング」など、すべての事業が行われている。これらの現場を水源環境保全・再生かながわ県民会議の委員と山北町森林組合の案内により見学することで、分野横断的な視点、市民の視点から、ダム、土砂、森林の問題について、矢作川流域との共通点と相違点を現地で確認し、矢作川流域圏懇談会の今後の議論に活かしていくことを目的とする。

## 先方の対応者

山北町森林組合 池谷専務理事

水源環境保全・再生かながわ県民会議 坂井マスミ委員

## 見学会の概要

集合： 1月28日（土）9:00（厳守） 中川温泉「丹沢ホテル時之栖」

前泊希望の方は、三保ダム貯水池（丹沢湖）のすぐ近くの「信玄公の隠し湯 中川温泉（PH10の超アルカリ泉）」にある「丹沢ホテル時之栖」（露天風呂あり）での前泊を手配します（1泊2食付き 10,000 円を予定）。前泊を希望する方は、1月27日（金）〇〇:〇〇に〇〇に集合し、マイクロバスでの移動になります。

なお1月27日の午前中には「地域部会山部会」を岡崎市内で行います。

# 日程表

予定時間 (所要分)	行程内容 現地事情による変更あり	解説内容 担当
9:00- (中川) 9:15-10:15 10:30-11:15	顔合わせ (日程・資料配布) 中川川上流: 白石沢 箒沢荘カフェ (町の紹介等)	自己紹介 溪畔林事業 坂井
11:30-12:15	世附川上流: 崩落現場 林道復旧状況	土砂発生 森林組合
12:30-13:30 13:30-14:00	昼食: 丹沢湖周辺飲食店 質疑応答・懇談 三保ダム: ダムと地域	水源環境税と森林 森林組合
14:10-15:10  15:20-15:40 15:50-16:10	玄倉川上流: 小菅沢 (土砂) 向沢: 20 年契約終了地 玄倉: 高度処理型浄化槽 火山灰崩落現場: 山市場: 道の駅: 休憩	土砂・水源林 森林組合 水質対策 坂井 西丹沢 坂井
16:30	終了地: 山北町森林組合	

## 【注意事項】

1. 森林や河川には都市部にはない危険が存在します。

・山は足元が不安定で滑りやすいところがあります。滑りにくい足に合った靴を履いてください。

・崩落した地点付近には近寄らないでください。

・山には春から秋までヤマビルがいます。足首の上まである靴下をはき、忌避剤をスプレーしてよい靴でご参加ください。ハチなどの虫もいます。刺激しないよう、黒っぽい服装は避け、また近寄ってきてもむやみに動かず、じっとして飛び去るのを待ってください。

・林業現場では山で目立つ色の服装と手袋をご準備ください。帽子・飲料・防寒等の対策もお願いします。

・河川の増水や天候の急変、自治体からの避難勧告や指示が出た時は、即時に中止します。

2. 道路凍結等危険が予測される場合、車輛を止め、徒歩による移動をお願いすることがあります。

参考：自然災害史

- (1)大正 9 年 8 月      西丹沢      集中豪雨
- (2)大正 12 年          関東大震災
- (3)昭和 12 年          東丹沢、他    大出水
- (4)昭和 47 年 7 月      西丹沢    集中豪雨(山北災害)

矢作川流域で 47 災と呼ばれている豪雨と同じ時に発生

- (5)平成 22 年 9 月 8 日    台風 9 号    西丹沢、他    集中豪雨と富士の火山灰地の崩落

過去の水難事故

1999 年 8 月 19 日、上流の玄倉川流域でキャンパーがダム放流水に流され、13 人が亡くなった。

2006 年 8 月 17 日、上流の静岡県御殿場市や小山町で局地的な豪雨が起こった。このため鮎沢川では急激な水位の上昇が起こり、下流で釣りをしていた 25 人が逃げ遅れて流されたり、中州に取り残されたりした。そのうち 2 人が岸までたどり着けずに溺れ行方不明になっていたが、1 人が神奈川県小田原市で、1 人は河口付近の海上で遺体として発見された。

